

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

行田クラブハウス

委員：岡田則之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1887回 例 会 (8月5日)

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆様今日は。

前回の例会は、はじめての通常例会方式による夜間例会を開催いたしました。如何でしたでしょうか？

今月も19日に、ものづくり大学の増淵助教授をお迎えして夜間例会をおこないます。夜間ですと多少の時間延長も出来、暑さも幾分か内輪でないかと思えます。増淵先生の講演をお楽しみにして頂きたいと思えます。

先日の1日の日曜日に高山パストガバナーが行田にお見えになり、「アジアの子供たちの絵日記展」をご覧になりました。

渡辺会員、福島会員と私とで御案内を致し、見学していただきました。

当日は、博物館の塚田学芸員さんの案内で、行田の歴史と併設して開催されております「日本の玩具展」もご覧になり、お帰りになりました。

絵日記展については、「素晴らしい絵が沢山あり、それぞれの国々の特徴がよく出ていて勉強になりました」と言っておられました。まだご覧になっておられない会員の皆さんは、ぜひ一度ご覧頂きたいと思えます。

また今泉パストガバナーからお手紙を頂戴し、その中でお住まいのある鶴ヶ島の国際交流協会でもミャンマーの子供たちとの書画の交換を企画中だそうでありまして、参考にしたいと言っておられました。

地区の沢山の方々を知っていただく事は、私達のモチベーションを高めると同時に今後のロータリー運動の励みにもなると思えます。

地区といえば、地区からロータリーソングのCDをお借りしてあります。4つのテストの歌など、知らない歌が沢山入っておりますので、後でお聞きください。

また、本日7月度の例会の週報をプリントアウトしたものをコピーしておいてあります。パソコンをお持ちでない会員の皆さんにお読みいただきたいと思えます。

さて本日は、諸貫健一ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー補佐訪問、並びにクラブ協議会例会です。本来ならガバナー公式訪問におこなうクラブ協議会を本日おこない、ガバナー訪問については通常の卓話例会になります。又、ガバナー訪問例会は行田さくら、吹上の両クラブとの合同による例会となっております。従いまして、諸貫ガバナー補佐の卓話を頂いた後、机を少し並べ替えてすぐにクラブ協議会に入らせていただきます。全員お残り頂いてクラブ協議会に御参加ください。なお、午前中に諸貫ガバナー補佐により事務局で書類の有無、内容のチェック受けておりますことを報告させていただきます。

さて最後になりましたが、恒例の「漢文を学ぶ」であります。

今回は「桑田変じて海と成る」という言葉であります。桑畑であったところが、いつの間にか青海原になってしまう。大自然でさえも姿を変える。と言うことだそうであります。

ロータリーも地代の流れを敏感に感じて、変わって行くべきだと思います。

本年度のガバナー公式訪問がその典型であろうと思えます。色々な事でこのような形になった事は、皆さん御承知だと思いますが、御決断頂いた方々の苦惱も少し分かる気が致します。行田ロータリーも少しずつ変化して来ております。その時の地域社会や会員の皆さんのニーズにあった運営、活動、運動を行って行くべきだと思います。そして其れが必要と判断した時は、早く全ての事に反映して行く事が必要ではないでしょうか？ 時は待ってくれません。時を追いかけるのではなく時が来るのを待つぐらいで丁度良いのかも知れません。そこからタイムリーな事業が熟慮された企画から生まれるはずで

皆様方の今後の御協力をお願い致して、会長挨拶に致します。

卓話 諸貫ガバナー補佐



自分の所属するクラブに訪問と言っても、いいような悪いような・・・。

ロータリーと言うのは、全員同じ。全員が、一国一城の主。ただ組織と言うのは、このように位置づけをしないとたたりたないもの。今日の話の中心は、今年が特別レアケース。

地区の指導者を養成する計画を立てよう。

ガバナーのなり手がいない。それは仕事に差し障るから。これはと言う人が、皆辞退してしまふ。幸か不幸か、この2570地区で今年起こってしまいました。ガバナー補佐は4回クラブ訪問をする事が、義務付けられています。自分のクラブをどこへ行っても悪くは言いたくありません。

この後クラブ協議会に移りますが、私の方からはアドバイスをする、受け取って頂けたらと思います。

入会する会員が退会する会員に追いつかず、会員数が減ってきています。

なぜR1の経費節減が出来ないのか？ こう言った不満を、各クラブの会長が思っています。

会長より謝辞

ご自分のクラブで喋るのは喋りにくいと思います。本日は、大変どうもありがとうございました。

委員会報告

姉妹クラブ世界社会奉仕 小林委員長

城中、2、3、4、5日になります。参加される方は、早めにご連絡をお願い致します。

出席報告

正会員数	73名	内義務規定出席者	8名
出席免除者	12名	メイクアップ	1名
本日の出席者	38名	出席率	53.42%

結婚・誕生祝い

8月は、結婚記念日の方はおりません。誕生祝いは、大谷会員・山本憲作会員・木村会員・武井会員・阿部会員・花井会員の、6名です。



代表挨拶 山本憲作会員

昭和21年8月7日に生まれ、今現在の行田ロータリークラブの方の平均年齢は57.87歳ですから、私はほぼ平均となります。残念ながら、体重は平均ではありませんが(笑)

昭和20年に戦争が終わり、私の年代は戦後の走りです。日本が救われるか？ の、大切な年代です。私をいかに大切にするかにかかっているととも思います(笑)

話変わりまして私の心情は、祖先を大切に。愛妻納税墓参り。これらをモットーとしております。

幹事報告 島崎政敏 幹事

10時より諸貫ガバナー補佐に書類検査をしてもらいました。来年4月の国際大会に石原さん決定。来週は、例会なし。次回の例会は、今月19日になります。クラブハウスにて、夜間例会となります。



阿部会員より

8月1～2日、私の父の葬儀に参列して頂きまして、どうもありがとうございました。88歳でした。父は、看護師さんに聴診器を当てて、「タベやったな？」等と、最後までとっても楽しい父親だった。

ニコニコ報告

合計¥48000

クラブ協議会

クラブ奉仕 内山委員長

本日はガバナー補佐が見えております。橋田ガバナーは本年度、「ロータリーに若さを」と言うことをおっしゃっております。

ロータリーに若さをと言う事で私も色々と考えておりますが、私もそう思っております。若さと言うのは、年齢的な若さと精神的な若さがあると思いません。

行田ロータリークラブには、精神的に若い方もたくさんいらっしゃると思います。私はそれを誇りに思っております。

例会のあり方について、SAAのあり方、充分に出来てないのでは？とも思います。どうしても、親睦委員会の方に頼っているのでは？その辺に関して、助言頂けたら・・・と思っております。

行田ロータリーも40周年になります。会員状況に付きましては、3名の増強を、と思っております。そして退会防止も気を付けていかなければと思っております。

諸貫ガバナー補佐のコメント

クラブ奉仕と言うのは、クラブの原点です。クラブ奉仕があっての、クラブです。人数が多くなると、プログラムが面白くないと言うのもあるのかもしれませんが、私語が多いときは「只今例会中ですから、お静かに」と言ってもらいたいです。その会の品位をみる事になりますから。でも居眠りは構いません。誰にも迷惑をかけるわけではありませんので。

会員増強は、会員退会の防止にもつながります。この行田クラブでは、新入会員が入るとその人をケアする人を作っていますよね。これはとってもいい事だと思います。

新入会員は、自分の居場所がありません。周りの人が、気を使って声をかけてあげる事がとっても大切です。そう言った配慮を、今以上に会長幹事にはお願いしたいと思っております。

ロータリー情報委員会に関しましては、私が入った20数年前、新入会員予定者と呼んで一杯飲ませて、懇親を深めるのが、情報委員会でした。いざ入会しましたら、ぜんぜん話が違っていったという事のないようにする事も大切です。

それからニコニコボックス。

このクラブにビジターとして来た方がビックリするのは、金額に関してです。以下同文で済ますと言うのは、如何なものでしょう。

熊谷ロータリークラブでのニコニコ委員会は、名前を書く欄と内容を書く欄がありまして、ちゃんと書くようにしているようです。



クラブ会報委員会

行田ロータリークラブに関しましては、2570地区の中でも最先端を走っております。

インターネットで繋いで、メールその他に関して電子化が図られています。



職業奉仕 古沢委員長

職業奉仕とは、ロータリーの金看板と言われております。自分の職業を利用して、奉仕する。職業奉仕の事例集を何通り送れるかわかりませんが、メールにて配信させていただきます。

企業の倫理観、これが、4つのテストだと考えます。例会場で読み上げておりますが、ただただ読むだけではなく実行に移して頂きたいと思っております。私の場合は、額に入れて事務所に飾りました。

ホームページの方も、各メンバーのところでホームページをお持ちでしたらロータリークラブのホームページと相互リンクを張っては如何でしょうか？

社会奉仕 持田委員長

社会奉仕委員会は、最近環境について大変騒がれております。わがクラブでは、水、空気に関して、水はお金を出して買うと言う時代に入ってきております。

音楽委員会に関して、わがロータリークラブは、マンドリンクラブと沢山の事業をやって参りました。行田ロータリークラブの冠を掲げての、奉仕と言う事を頭に置いて、頑張っていきたいと思っております。

諸貫ガバナー補佐より

社会奉仕とは難しいのですが、ロータリークラブを何故作ったのか？と言う事を考えれば、おのずと答えは出てくると思っております。お互い商売を利用しあいましょうと考えれば、考えられなくもない。

例えばシカゴの町に公衆トイレがない、ないならば、作りましょうと。ロータリーの原点は、そこにあると思っております。

IT委員会、行田ロータリークラブではオフィシャルメールが始まってから、大変面白くなってまいりました。

音楽委員会、これも行田くらいでしょう。

そして学校の方でも、先生の感覚が随分と変わってまいりました。熱心な先生の仕事に、色々な形でクラブが報いる。これは一般市民が、見ていないようで見えています。

出席奨励委員会

昨年度は、大活躍でした。行田は何の水増しもしてありません。

国際奉仕委員会 蔭山委員長

本年度の4つのうち、社会奉仕活動の一環をなすものです。国際奉仕と言うのは何かといいますと、国際文化交流、これが大きな事だと思います。

まず姉妹クラブ委員会なのですが、10月城中との校友会、調印して、さらなる交流を深めたいと思います。

青少年交流委員会について、これから先の事はございません。行田の高校に、インターアクトクラブの立ち上げを森島委員長が頑張っていてやっております。

諸貫ガバナー補佐より

ロータリーの友の7月号をお読みにになったと思いますが、巡礼ロータリー100年というのがありますが、ロータリーと言うのは間柄の美学なんだよ、と。つまり仲間同士が仲良く助け合って、この人生を送っていこうじゃないか、と。そう言う事を書いています。皆さんお手元にあるでしょうから、読んでいない方は一度読んで見ることをお勧め致します。

そして会員が減ったと言う事は、一概に悲しむことではない。誰でも入会させるとは言っても、ロータリークラブの品位も維持しなければなりません。これは、私も確かな事だとも思います。

米山なんですけど、卒が今まで1000人だったのですが、今は800人になってしまいました。それから新世代、これは今の橋田ガバナーが大変力を入れていきます。

100周年事業委員会 渡辺委員長

ロータリーの友、8月号12ページなのですが、100周年を期に何をやったら良いのかを考えた時に、地域に認められたい事をやる。100周年の事業の目的は、そこにあると思います。

金額にしまして200万以上のお金を使わせて頂いて、図書館には200冊以上の本をお贈りするが出来ました。

読書はどれほど大切なのかを、皆様に伝えたい。子供だけではない、今は親も本を読まなくなってきています。そしてただ本を寄贈しただけでは、読書推進にはつながりません。読み聞かせを初めとして、読書推進も、やっていきたいと思っております。

諸貫ガバナー補佐より

このまま、報告させて頂きます。何も言う事はありません。

黒淵会長より挨拶

皆様お疲れさまでした。尚、諸貫ガバナー補佐、大変お疲れさまでした。

今日頂いたアドバイス、今後の役に立てていただければいいと思います。

お体を大切にして、ガバナー訪問をして頂きたいと思っております。

